

舌下免疫療法をお考えの方へ



舌下免疫療法と薬物療法の違いって何？

舌下免疫療法はスギやダニの抗原を少しずつ体に取り入れることで体を慣れさせ、スギ花粉症の症状、ダニによるアレルギー性鼻炎の症状を出にくくする治療法で、根本的な体質改善が期待できる治療法です。

薬物療法(対症療法)は症状を起こす物質(ヒスタミンなど)の働きや鼻の中の炎症を抗アレルギー薬等でおさえて症状を和らげることです。

どうやって行うの？

夜寝る前に舌の下にお薬をおき、毎日服用します。

はじめの1週間は少量投与、翌週8日目からは増量し一定量を服用します。

その後4~5年続けて服用する為、定期通院が必要となります。

自己負担金は診察と同様です。

効果はどれくらいであらわれるの？副作用は？

正しく治療が行われると、スギ花粉症の場合は初めてのスギ花粉飛散シーズンから、ダニアレルギー性鼻炎の場合は治療を始めて数ヶ月後から効果が期待され、年単位で継続することで最大の効果が得られると考えられています。

主な副作用→口の中の浮腫、腫れ、かゆみ、不快感、異常感、唇の腫れ、喉(のど)の刺激感、不快感、耳のかゆみなど

重大な副作用→ショック、アナフィラキシー

<当院で始める方へ>

2週連続で予約を取る必要がある為、Webから予約はお取りいただけません。

予約は、お電話か診察時のみお受けします。

初回は、院内で30分経過観察する必要がある為、午前は11時、午後は17時までに予約をお願いします。

初日のみ服用後2時間は激しい運動、入浴をお控えください。

当日、お子様に何をするのか説明してきていただくことをお勧めします。小さいお子様の場合、自宅でラムネなどを使い、舌の下におく練習をしてきていただくこと、警戒心もとれ、当日、お子様も安心して治療を始められるかと思いますのでご協力をお願いいたします。

もりもりキッズ・アレルギークリニック